

令和4年度 第4回小平市公民館運営審議会 会議要録

- 1 開催日時 令和4年11月8日(火) 14:00～16:00
- 2 開催場所 小平市中央公民館 講座室2
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員 11名(うちZoom参加者4名)
事務局 中央公民館長、館長補佐兼事業担当係長、管理担当係長、分館担当係長8名
(上宿、花小金井南 欠席)
- 4 傍聴者 1名
- 5 配布資料 (1) 令和4年7月1日付、10月1日付人事異動・・・・・・・・・・資料1
(2) 令和4年度小平市公民館定期講座等一覧表・・・・・・・・・・資料2
(3) 令和4年度東京都公民館連絡協議会 職員部会 報告・・・・・・・・・・資料3
(4) 令和4年度東京都公民館連絡協議会 委員部会 報告・・・・・・・・・・資料4
(5) 東京都公民館研究大会開催要項(案)・・・・・・・・・・資料5
(6) 審議会研修会 公開講演会チラシ・・・・・・・・・・資料6
(7) 関東甲信越静公民館研究大会茨城大会 報告・・・・・・・・・・資料7
(8) 令和4年度第3回小平市公民館運営審議会 会議要録・・・・・・・・・・資料8
- 6 次第 (1) 館長報告
(2) 令和4年度 小平市公民館定期講座について
(3) 令和4年度 東京都公民館連絡協議会について
(4) 令和4年度 小平市公民館運営審議会自主研修会について
(5) その他

会議の概要

1 館長報告

(1) 小平市功労者表彰について

10月1日に行われた「市制施行60周年記念式典」において、勝谷会長が自治功労者表彰状を、久米委員、多田委員、古家委員が自治協力者感謝状を受賞された。

(2) 教育委員の就任について

古川正之教育長が、10月1日より3期目に、山口有紀子委員が10月31日付で任期満了、後任として望月克浩委員が就任した。

(3) 人事異動について

資料の通り報告した。

(4) 公共施設マネジメント（利用団体ヒアリング）について

10月5日（水）、14日（金）、26日（水）の3日間、公共施設マネジメント課の主催により、公民館、福祉会館等の利用者、利用団体ヒアリングが行われ、審議会委員のみなさまも多くご参加いただいた。そのほかにも多くの公民館利用者をご参加いただいた。

10月5日（水）は11名、14日（金）は16名、26日（水）は19名の延べ46名の参加があり、公民館職員、福祉部職員も加わり熱心に意見交換が行われたと伺っている。

(5) なかまちテラスのイルミネーションについて

今年度も職業能力開発総合大学校からご協力いただき、なかまちテラスの外壁にイルミネーションの飾りつけを行う。

11月12日（土）午後5時からなかまちテラスにおいて点灯式が行われる。イルミネーションは2月末まで、午後5時から10時まで点灯される。

2 令和4年度 小平市公民館定期講座等について

事務局より資料2について説明した。

(質疑応答)

多田委員 夏休み期間中に多くの公民館でジュニア講座が開催されたが、津田公民館の「夏休み子どもの科学工作」と鈴木公民館の「みんな作ろう！迷路板づくり」について、今、子ども達の理科離れが言われているのでいいと思った。どのような内容であったか教えてほしい。また、上水南公民館の「はじめてのレザークラフト ふくぷくミニポーチを作ろう」は定員に対して申し込みが多かったが、日付が近いので、ほとんどの人が受けられたのかと思っている。その辺についても教えてほしい。

津田公民館 「夏休み 子どもの科学工作」は、学年に応じて講師がテーマを設定した。1・2年生の低学年には磁石を使ったおもちゃ作り、3・4年生の中学年にはモーターを使ったおもちゃ作り、5・6年生の高学年にはプラネタリウムを作るということで、実際に星座の形に穴をあけて投影をするといった学年に応じた課題で実施した。次年度は講座の予定はないが、友・遊などで協力を得られればよいと思っている。

鈴木公民館 「みんなで作ろう！迷路板づくり」は、木の平板に釘などで迷路を作り、ビー玉をゴールまで通すという内容で実施した。のこぎりを使うこともあり難易度が上がってしまい時間内に終わらずに持ち帰ってもらったことは反省点だと思う。講師は利用サークルの方で、高齢者の方を中心とした居場所づくりをしている方で、講師とサポート役をしていただき、高齢者と小学生の世代間交流ができた。

上水南公民館 「はじめてのレザークラフト ふくぷくミニポーチを作ろう」は、それぞれ15名ずつの定員だが、それぞれ42名と44名の応募があった。

多田委員 津田公民館は、学年ごとに分かれているのがいいと思った。女の子が参加しやすい講座はいっぱいあると思うが、理科だと男の子も参加しやすいと思うのでどんどん増えていったらいいと思った。

田尻委員 花小金井南公民館で説明した講座ではないが、地域支援講座「コミュニティカレッジ」は12回開催予定である、また、学習支援は「調整中」とのことだがどうなっているか。また、文化教養講座の「外国人との交流」では、外国から来た人は外国人という表現はかなり気にするので、境界線を作らない言い方に変えた方がいいと思う。

事務局 コミュニティカレッジについて事業企画委員会で尋ねたところ、当初中央公民館のシルバー大学をイメージしていたが、そのようなものではなく、サークルの活性化のために各サークルが主役となる企画と考えている方もいた。時間をかけて話し合っていくことになったので、今年度の実施は見送り、今後議論していくこととしたい。
学習支援は、堀井校長からの提案で、学習支援の講座をイメージしていたが、子どもの居場所として、学習支援の場を作る。対象者は主に中学生となる。
外国人との交流は、事業企画委員会で提案いただいた内容で、サークル化を目指すのかを含めまだ打合せ中である。外国人に来ていただき、いろいろなことを話してもらう予定である。外国人という表現については、良い表現があれば再考する。

堀内委員 講座実施状況表が、色分けされて見やすくなった。公民館まつりに子どもが来れるようなものがあるといいと思う。大沼公民館の防災生活安全講座「気象のいろはと日頃の備え」の説明で出前講座との説明があったが、出前講座と公民館主催講座の違いはあるか。

大沼公民館 気象庁東京管区気象台の出前講座という枠組で実施するというので、内容は公民館主催講座と変わりはない。

会 長 従来の公民館まつりは、子ども向けの出展もあるが、コロナ禍で仕方がないと思っている。

徐々に従来の形に戻れば良いと思っている。

質問だが、仲町公民館のシニア講座「スマホで学ぶコミュニケーションツール Zoom、LINE 入門編」は、応募が 72 人と多かったが落選者への対応はどうか。

仲町公民館 他の公民館でも同様の講座を開催している。仲町では、iPhone と Android に分かれていて、72 人の応募は Android である。今年度の事業企画委員会でも議題に挙げて、次年度は全く同じではないが、Android に特化した形で開催を予定している。

小川公民館 当初、小川公民館では、少し違う内容を予定していたが、このような仲町公民館の状況を勘案して Android に特化して開催した。少しでも、仲町公民館で落選した人が受講できるような工夫をした。

会 長 上宿公民館の健康づくり講座「筋膜リリース&筋力 UP エクササイズ」も応募者が多かった。

季高館長 上宿公民館では、昨年と同様の講座を今年度も実施した。申し込みが多い人気の高い講座についての落選者へのフォローは今後も課題となるが、同様の講座を 2 年連続で実施したり、他の分館でも実施したりなど、工夫していきたい。

3 令和 4 年度 東京都公民館連絡協議会について

職員部会については、資料 3 のとおり。

委員部会については、委員より資料 4 について説明した。

研究大会については、職員より資料 5 について説明した。

4 令和 4 年度 小平市公民館運営審議会自主研修会について

資料 6 参照。

長澤委員 場所がホールとなるので、ディスカッションは難しい。代わりに瑞穂町が協力して 1954 年に作成した映画（「公民館物語」24 分）を研修会で上映したい。その中に疫癘に対する公民館の対応があり、コロナの課題と重なるところがあると思う。先ほど、事務局に提案したばかりなので、いかがだろう。

事務局 DVD については、大丈夫である。

久米委員 定員 50 人に Zoom 参加者は含むのか。また、Zoom 参加者は映画を見られるのか。

事務局 Zoom参加者は定員に含まない。また、上映については、Zoomのカメラから見られると思う。

久米委員 この後、グループディスカッションはあるのか。

事務局 映画24分だと先生の話しが90分位、会場から質疑等を伺って先生にお答えしていただければと思っています。

会長 2月14日の自主研修会では、公民連や事業企画委員会に声をかけて懇談会を企画しているが、なかなか事業企画委員のなり手がいないので、人材をどうしたらいいのか、みんな考えていきたい。何か意見があればお聞きしたい。

久米委員 事業企画委員の選び方のことか。

勝谷会長 事業企画委員会の委員が集まらないという課題を、どのようにすればいいかということについて考えたい。

久米委員 上水南公民館では、公民館まつりの後にハロウィンが行われた。ハロウィンの人手も多く、まつりより盛り上がっていたように思った。公民館の中庭に売店もあり、子どもから父兄、若い方まで仮装して意気揚々と街中を歩いているのを見て「これがまつりだな」と思った。公民館主催のまつりをどうやって盛り上げていけばいいか。事業企画委員会の委員を選ぶ時に幅広く大学生などの若い方を入れて活性化して新しい講座を考えていただきたい。

海老名委員 事業企画委員会の委員が集まらないというが、令和4年度の予定では、平日の午前中が91パーセントで、夜間開催の予定はない。その時間に参加できるとなると条件が厳しいと思う。開催条件を柔軟にしないと新しい人は入ってこないのではないかと。

大沼公民館 コロナ前は夜間開催していた。去年はコロナの影響で、夜間から昼間に変えていたが、今年度は夜間に戻している。

鈴木公民館 コロナ前は夜間開催していた。去年はコロナの影響で、夜間から昼間の開催にした。今年度は、委員が夜間だと難しいとのことがあったためそのまま昼間に開催にしている。

細江委員 小平には大学がたくさんある。学生を巻き込む活動をした方がいいと思う。例えば、大学にチラシをまくなどきっかけを作っておく。公民館のイベントに学生がいると子ども達の反応が違う。うまく学生と一緒に活動をしてほしい。

会 長 大学生が事業企画委員に加わっていた館はあったと思うが、現在はどうか。

事務局 現在は、いない。

細江委員 産業まつりには、2～3の大学がブースを出している。夏休みフェスタなどでも2大学がワークショップを実施していた。公民館まつりでもそのような連携ができるといいと思う。

季高館長 事業企画委員に若い人に加わってもらうとなると、平日の昼間は難しい。継続的な会議は難しいと思うが、今後も研究していきたい。ただし、イベントなら可能性はあると思う。「高校生事業企画委員会」に現在取り組んでいるが、発展させて、委員が卒業しても公民館に関わっていた、遊びにきた、というサイクルを作り上げようと思っている。必然的に大学生になっても関わる、卒業しても公民館に来やすいサイクルができるように、取り組みはじめたばかりである。

堀井委員 先ほど、花小金井南公民館の「学習支援」の話題があつたが、もちろん私も関わるが、高校生にも関わってほしいとっていて、公民館で中学生と高校生とが関わるといいと思っている。とにかく、開催してみる、というところからはじめたい。

堀内委員 仲町公民館の事業企画委員会の方が素晴らしかったので自主研修会に是非意見交換したい。10月に小学生が公民館を見学する機会があつた。質問内容を考えるなど、事前学習が素晴らしく、公民館に興味津々だった。できれば当日活動しているサークルに実際に体験させてもらったり、公民館を感じてもらえる時間があるとよかった。高学年や中学生になると公民館から離れていくので、学校で公民館と重なるような学習内容があるなら、それと連動して公民館の使い方や講座を考えてもらうなどの機会をつくっていい。

季高館長 社会科見学で学校の近くの公民館を見学することがある。見学時にサークル活動の体験をさせていただくことは、学校と公民館との打合せによると思う。

5 その他

- ・関東甲信越静公民館研究大会について
参加者より報告した。(資料7参照)

次回は、1月10日(火)午後2時より、中央公民館にて開催する。第6回は、3月14日(火)午後2時より、花小金井南公民館にて開催する。